



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大名

上場会社名 株式会社 太平製作所
 コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 成田 光將
 (氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	541	61.1	△144	—	△146	—	△177	—
23年3月期第1四半期	336	14.8	△220	—	△218	—	△209	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △169百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △215百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△13.19	—
23年3月期第1四半期	△15.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,613	2,243	40.0
23年3月期	5,431	2,413	44.4

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,243百万円 23年3月期 2,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成24年3月期(予想)の配当金につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,025	114.2	35	—	40	—	25	—	1.86
通期	4,150	32.5	140	—	150	—	90	—	6.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	15,000,000 株	23年3月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	1,573,303 株	23年3月期	1,573,303 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	13,426,697 株	23年3月期1Q	13,778,925 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響で復興需要の動向が一部見え始めており、当社を取り巻く環境にもその兆しが見えつつありますが、材料等の高騰及び円高により経済状況が不安定な状態であることから、景気は依然として先行き不透明な状況のなか推移いたしました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は541百万円（前年同四半期比61.1%増）となりました。グループ各社ともに、国内・国外営業が一体となって営業活動を推し進め、製造部門においては、原価及び工程管理をきめ細かく実施した結果、前年同期に比べれば回復傾向にはあるものの、その水準は依然として低く、設備投資全体も低調に推移する厳しい環境が続いた結果、営業損失は144百万円（前年同四半期は220百万円の営業損失）、経常損失は146百万円（前年同四半期は218百万円の経常損失）、四半期純損失は177百万円（前年同四半期は209百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、震災の影響で復興需要の動向が一部見え始めたことにより、徐々に受注の確保が出来るようになってきたことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は260百万円（前年同四半期比127.0%増）となりました。営業損失につきましては、経費削減等に最大限努力しましたが、123百万円（前年同四半期は130百万円の営業損失）となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、木工業界全体の需要の落ち込みに底打ち感が見え始め、業界全体としては徐々に回復傾向に向かいつつあることから、当第1四半期連結累計期間の売上高は100百万円（前年同四半期比33.4%増）となりました。営業損失につきましては、売上高の上昇に加え、コスト削減や経費削減等にも努力しましたが、いまだ回復途上であるため、7百万円（前年同四半期は63百万円の営業損失）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、震災の影響で木材が大打撃を受け、木材製品が不足していることから住宅建材全体の需要としては大変厳しい状況でありましたが、復興により徐々に持ち直し始めたことから当第1四半期連結累計期間の売上高は180百万円（前年同四半期比23.5%増）となり、営業利益につきましては、4百万円（前年同四半期は8百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.3%増加し、3,620百万円となりました。これは主に、現金及び預金が480百万円増加、受取手形及び売掛金が684百万円減少、たな卸資産が404百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、1,993百万円となりました。これは主に、有形固定資産が18百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%増加し、5,613百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.6%増加し、2,239百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が152百万円増加、前受金が161百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、1,130百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が4百万円減少、繰延税金負債が5百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.7%増加し、3,370百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7.0%減少し、2,243百万円となりました。これは、利益剰余金が177百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災の影響もあり、材料等が高騰していることが住宅着工戸数にも影響し、当社グループの取引先においての設備投資意欲の完全な回復には至っていないものと思われます。

住宅着工戸数については、平成22年度（4月～3月）は81万9千戸と前年度に比べ4万3千戸（約5.6%）の増加、平成23年（4月～6月）は20万3千戸と前年同月に比べ8千戸（約4.1%）の増加となりました。

当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であり、売上計上に至るまでには、長期間を要することや、季節的な要因の影響も大きく、安定した売上を計上することが難しい状況であります。一方、新しい製品の開発や機械の改良・改善にも力を注いでおりますが、著しく差別化された商品力を持つまでには到達していないのが現状です。

今後の見通しにつきましては、季節的要因を出来る限り少なくし、安定した売上計上を目指しておりますが、業績予想につきましては、震災等の影響もあり、今後の状況はまだまだ厳しい状況が続くものと思われます。

このような状況のなか当社グループは、今後とも業績の改善を最重要課題として取り組み、また、震災で被災された顧客の一日でも早い復旧と、安全な稼働が出来るようなバックアップ体制の構築に努めるよう一丸となって取り組んでまいり所存であります。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,856,863	2,337,689
受取手形及び売掛金	1,121,031	436,754
有価証券	99,960	99,960
製品	31,688	31,688
仕掛品	163,870	567,467
原材料及び貯蔵品	124,094	124,922
その他	21,142	35,883
貸倒引当金	△13,811	△13,864
流動資産合計	3,404,840	3,620,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	764,144	754,777
土地	689,746	689,746
その他（純額）	111,728	102,606
有形固定資産合計	1,565,619	1,547,130
無形固定資産	43,025	40,158
投資その他の資産	417,765	405,866
固定資産合計	2,026,410	1,993,154
資産合計	5,431,250	5,613,657
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	623,489	776,068
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	1,438	614
賞与引当金	20,857	32,884
その他	192,423	379,765
流動負債合計	1,888,209	2,239,332
固定負債		
長期借入金	600,000	600,000
繰延税金負債	232,057	237,140
退職給付引当金	211,277	206,753
役員退職慰労引当金	61,387	63,870
その他	25,229	23,001
固定負債合計	1,129,950	1,130,766
負債合計	3,018,159	3,370,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	1,795,186	1,618,032
自己株式	△205,371	△205,371
株主資本合計	2,417,016	2,239,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,925	3,696
その他の包括利益累計額合計	△3,925	3,696
純資産合計	2,413,090	2,243,558
負債純資産合計	5,431,250	5,613,657

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	336,082	541,364
売上原価	420,983	505,344
売上総利益又は売上総損失(△)	△84,901	36,019
販売費及び一般管理費	135,202	180,493
営業損失(△)	△220,104	△144,473
営業外収益		
受取利息	335	201
受取配当金	1,664	1,658
助成金収入	5,009	1,805
その他	3,786	1,269
営業外収益合計	10,795	4,935
営業外費用		
支払利息	5,059	4,252
デリバティブ評価損	3,509	30
為替差損	—	3,081
その他	384	47
営業外費用合計	8,953	7,412
経常損失(△)	△218,262	△146,950
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,087	—
特別利益合計	3,087	—
特別損失		
固定資産除売却損	51	234
投資有価証券評価損	—	30,576
特別損失合計	51	30,811
税金等調整前四半期純損失(△)	△215,226	△177,761
法人税、住民税及び事業税	284	284
法人税等調整額	△5,678	△890
法人税等合計	△5,394	△606
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△209,831	△177,154
四半期純損失(△)	△209,831	△177,154

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△209,831	△177,154
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,533	7,622
その他の包括利益合計	△5,533	7,622
四半期包括利益	△215,364	△169,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△215,364	△169,532

(3) 継続企業の前提に関する注記

当期1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客に対する売上高	114,943	75,316	145,822	336,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	63	—	63
計	114,943	75,379	145,822	336,145
セグメント損失（△）	△130,616	△63,771	△8,738	△203,126

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△203,126
セグメント間取引消去	△63
全社費用（注）	△16,914
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△220,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単価：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	260,869	100,442	180,052	541,364
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—
計	260,869	100,442	180,052	541,364
セグメント利益又は損失（△）	△123,359	△7,247	4,184	△126,422

2. 報告セグメントの利益又は損益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（再調整に関する事項）

(単価：千円)

損 失	金 額
報告セグメント計	△126,422
セグメント間取引消去	—
全社費用（注）	△18,050
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△144,473

(注) 全社費用は、主に報告にセグメントに帰属しない一般管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。